

入院しても続けられる！ 高校生活！

# 入院中の高校生支援

今後の学校生活は  
どうなるの？

高校の授業が進んで  
いくのが心配・・・

高校の様子が  
知りたいな・・・

退院したら学校に  
もどれるのかな・・・



学校の様子を  
伝えたいけど・・・

入院中に勉強は  
できるのだろうか？

安心して復学できるために  
どうすればいいだろう・・・



桃陽総合支援学校の「**医教連携コーディネーター**」  
が相談をお受けします。



「育（はぐくみ）」支援センター桃陽では、入院する高校生の  
教育相談や学習支援に取り組んでいます。

内容： 「高校生・保護者等の教育相談」 「配信授業に関する相談」  
「学生ボランティアによる高校生支援」

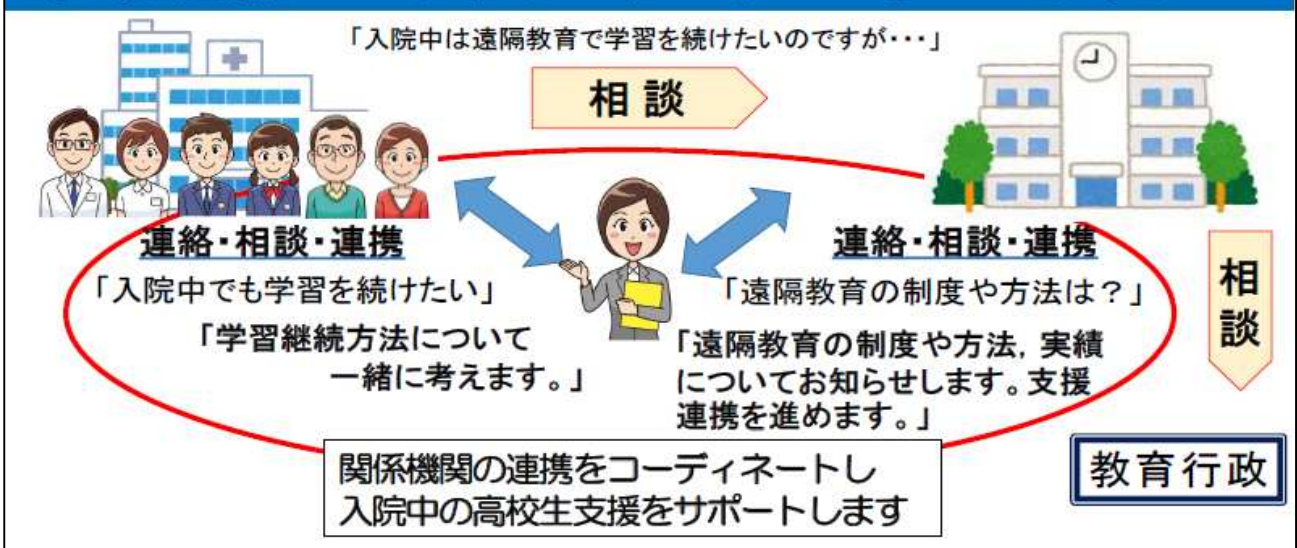
京都市立桃陽総合支援学校 TEL:075-641-2634（本校）



## 医教連携コーディネーター（相談窓口）

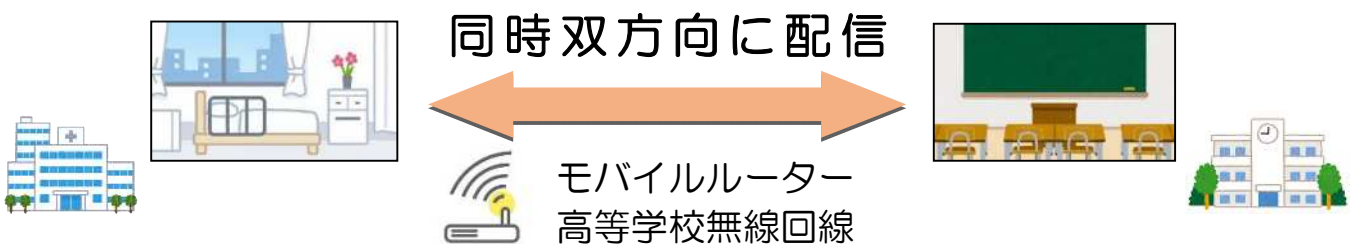
桃陽総合支援学校では、入院する高校生の教育相談担当として「『育』支援センター桃陽」に医教連携コーディネーターを配置しています。医教連携コーディネーターが「高校生」「保護者」「高校」「医療関係者」等の相談を受け、入院中も学習が継続できるようにコーディネートします。

### 「医教連携コーディネーター」によるコーディネート



## 入院中の学習支援について

インターネット等を利用して高等学校の授業や活動を同時に配信し視聴することができます。



Q：病院で授業を視聴することで出席認定できるのですか？

A：同時双方向型の配信授業を視聴することによって出席認定や単位認定することが可能です。

Q：授業で使用するプリントはどのようにして病院側に届けるのですか？

A：ダイレクトプリンターでプリントを病院側の生徒に送信することができます。

Q：入院中に定期考査を実施することはできますか？

A：医教連携コーディネーターや医療関係者が問題用紙の配付や答案用紙の返送等をサポートすることで、クラスメイトと同時に受験することができます。

## 同時双方向型の配信授業の様子

同時双方向型の配信授業では、高校生活の今を共有することができ、入院中の生徒の心理的支援に繋がります。



病院や自宅で授業配信を受ける様子



高校側に遠隔コミュニケーションロボット「KUBI」を設置して授業を配信

教室に設置した「KUBI」を病室から操作し、教室の見たところが見える。教室の中にいると錯覚するくらいリアルな感覚を味わえる。



クラウド型授業支援アプリを使用して協働学習に参加



## 同時双方向型の配信授業に関する制度について

- 入院生徒に対する教育保障は全国的に課題となっており、平成25年度に実施された文部科学省の調査において、長期入院する高校生の約7割が、入院中に学習支援を何ら受けられていない実態が明らかになっています。
- そうした中、教育支援が受けられ、進級・単位認定ができるよう、制度の見直しによる要件緩和等が進んできています。

- 平成27年【学校教育法施行規則改正】  
遠隔教育の制度化（メディアを活用した同時双方向型の遠隔授業が可能に）
- 令和元年【文科省通知】  
受信側の教員の配置要件の緩和（病室等への当該高校の教員配置は必ずしも要しない）
- 令和2年【学校教育法施行規則改正】  
単位修得数等の上限緩和

入院中の高校生支援に取り組んだ結果、直近4年間で、市立高校生4名、府立高校生4名、私立高校生6名(市外2名含む)が、入院中の学習支援によって、出席・単位認定を受けて進級や卒業することができています。

## 遠隔教育を受けた高校生の感想



登校する授業と大きな差はなく分かりやすかった。リアルタイムの授業を受けることで、生活リズムを整えることができて良かった。

治療でしんどいこともあるけれど、入院中は時間を持て余すことが非常に多いので、配信授業が受けられることは時間を有効に使えて良かった。しんどい時は自分でベッドに横になり休むことができるので、体調的な負担はなかった。

遠隔教育がなかったら今頃退学していたと思う。とても有難かった。

## 遠隔教育を実施した高校の感想



長期入院中でも学習を中断することなく、クラスメイトとコミュニケーションがとれることは、入院中の生徒が治療と向き合い、病気を克服する上で非常に大きな支えとなることがわかった。

クラスメイトが授業前にモニターに手を振ったり、モニターを黒板の見えやすい位置に移動させたりするなど、入院生徒を思いやる気持ちが生まれクラスにとっても大変有意義な取組となった。

タブレット端末やWi-Fi環境等のトラブルに対処する必要があるが、それ以外は、タブレット端末を通して病院側の生徒とやりとりもでき、いつもと同じように授業を進めることができた。



入院療養しながら教育を受けられる

## 京都市立桃陽総合支援学校

本校・訪問教育

TEL: (075) 641-2634 FAX: (075) 641-2648

〒612-0833 京都市伏見区深草大亀谷岩山町 48-1

国立京都医療センター 分教室(3階) TEL・FAX: (075) 643-8450

〒612-0861 京都市伏見区深草向畑1-1(国立病院機構京都医療センター内)

京大病院 分教室(5階)

TEL: (075) 751-4362 FAX: (075) 751-4277

〒606-8507 京都市左京区聖護院河原町54(京都大学医学部附属病院内)

府立医大病院 分教室(5階)

TEL・FAX: (075) 251-5877

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465(京都府立医科大学附属病院内)

京都第二赤十字病院 分教室(3階) TEL・FAX: (075) 212-6145

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5(京都第二赤十字病院内)

京都市立病院 分教室(本館4階)

TEL・FAX: (075) 311-5333

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2(京都市立病院内)